

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス しきさい			
○保護者評価実施期間	令和8年2月18日		～	令和8年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和8年2月18日		～	令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援室等のスペースの有効利用	日々の活動で使用している主たるスペースは、発達支援室ですが、掲示物作成、体を動かすダンスやラジオ体操等の集団活動と宿題等の個別対応とは、区切りを設け使用しています。	椅子やテーブルは容易に移動可能なものを使用し、発達支援室の有効活用が出来るよう工夫をしています。
2	支援への取り組み	皆んなで作る掲示物は、こども達に自由に色えんぴつ、サインペン、色紙をちぎったり等で楽しく取り組んでもらい、感覚で形の大きさや色の違い等を学んでもらっています。また、長期休暇には、地域の公共施設を利用させてもらい地域資源を大いに活用しています。	季節を感じられるよう、職員間でテーマ設定を検討し、こども達に達成感も得られるよう準備しています。地域公共施設の利用の際には、その場を利用する他児や保護者様との交流がもっと広がるよう努めています。
3	職員のチーム連携	支援開始前の職員間の打ち合わせの中で、職員の困り事や悩み等もオープンにしてもらい、働きやすい職場環境の提供をするようにしています。	コミュニケーションを大切にしながら更に連携を図り、職員の今までの経験に伴う強みを引き出せるようにしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の関わり	保護者様同士、顔を合わせる場がやはり少ないと感じています。	それに向けた準備を進め、今後は保護者様同士が集える機会を作りたいです。
2	お子様の日常生活の幅広さ	年長さんから中学3年生までの日常生活のスキルの幅広いお子様に対して、個々に見合った内容の活動を提供する難しさも一方ではあります。	同じ内容の活動への参加方法に対してなど、そのお子様に寄り添い職員全員で対応に当たるようにしています。
3	各種マニュアルの保護者様への周知、説明	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は策定されていますが、事業所内職員間での周知、活用が主です。	各種マニュアルに関しての保護者様への周知、説明は対応を急ぎたいです。